つちだレポート

第８５回都市対抗野球大会東京都第二代表二回戦

対東京ガス戦　５対４で敗れる

９回無死満塁を生かせず

安打	0	1	0	2	1	2	2	0	1	9
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田	0	1	0	2	0	1	0	0	0	4
東京ガス	2	1	1	0	0	0	0	1	X	5
安打	1	1	1	1	0	1	1	1		7

明治安田　　鈴木・平田・古田・重信・×大久保―尾嶋
東京ガス　　山岡・那須・山崎・〇岩佐・　　－山内
　本塁打　黒田（ガス）・加藤（明治）・柴山（ガス）
　三塁打　尾嶋（明治）
　二塁打　島田（明治）・本田（明治）

先発鈴木投手は初回先頭打者を四球で出し、４番打者に初球ストライクを取りにいったところをレフトスタンドに先取の２点本塁打を打たれる。２回にも１死後７番打者に１ボール後の甘いストレートをライトスタンドに軽々持って行かれた。

３回も先頭打者にセンター前、犠打と中飛で２死２塁。鈴木投手から平田投手に継投後、四球で２死１塁・２塁から三遊間を抜かれ追加点（４点目）を許すも後続を抑える。

以降古田投手（３イニング・失点0)、重信投手（1イニング・失点0）と頑張り、８回からエース大久保投手を投入し期待するも、先頭打者を２ストライクと追い込んでから４連続ボールの四球は誠に残念。８回終盤に来て先頭打者を歩かせるとは考えもんだ。今までの大久保投手にはなかった（与四球数の多いのも事実だが)。大切な試合での先頭打者四球は頂けない。次打者送りバンド１死２塁で当たっている７番打者に勝ち越しのレフト前にタイムリーを打たれた。

またこの回のレフトの守備位置は問題。１死２塁、打者は左、当然レフトは追加点を防ぐべく浅めの守備が最善だが、通常の守備位置をとった為打球を前進しての処理は困難な捕球体制となり、打球を弾き２塁走者の生還を許した（レフトは内野手登録の選手で６回からの途中出場だが今後の課題としてほしい)。

打撃陣は２回５番加藤選手の左中間本塁打は今日の混戦模様の幕開けを感じさせる一打だったが、この後７回の２死１・３塁で１塁フライでチャンスを潰し、９回１死満塁でスクイズ失敗のダブル・プレーで同点・逆転のチャンスを再度潰した。日頃の加藤選手のチャンスに強いイメージから残念だった。

しかし、打撃陣は４回の攻撃は先頭３番島田選手のライト線横を抜ける２塁打、４番荒川選手のセカンドゴロで１死３塁、５番加藤選手の３塁ゴロで２点目を挙げ、２死走者なしから６番本田選手が四球で出塁、続く７番尾嶋選手の打球はセンターへ、野手目測を誤り３塁打となり本田選手がこの回２点目のホームインで１点差に迫る立派。６回先頭加藤選手死球で出塁、続く本田選手とのヒットエンドランで打球は左中間の２塁打となり、１塁走者加藤選手は一気に同点のホームを踏む素晴らしい攻撃力。

ＮＴＴ東日本戦・東京ガス戦を観戦して良く戦っていると思うが、勝に対しての執念が今一歩の感じがしてならない。特にベテラン選手のチャンスにおける適時打がない。その他の選手もベンチにおける声掛けも少なくチーム一体感がスタンドまで届かないのは誠に残念至極です。私一人の妄想なればよいが？

目標は第四代表一つだ。これからが勝負、チーム一体となり投打力を合わせ２万５千人の大応援団を東京ドームに送り込もう。

先ずは５月３０日の試合に勝ち６月５日神宮での代表戦は練習の成果を。

残りの２試合チーム一丸となり勝ちへの集中力を高め代表を勝取ってください。

チームスローガン

Ｇｅｔ　ｂａｃｋ　ｔｏ　ｔｈｅ　ｂａｓｉｃｓ

基　本　に　帰　れ

土田　唯雄